

学校だより

令和6年7月12日(金) No.24

かがや

輝くわかば

(文責)熊本市立若葉小学校
校長 坂本多代



児童集会(生活委員会)

7月11日(木)の児童集会は、生活委員会からの発表でした。

「ろうか歩行」「明るいあいさつ」についての分かりやすい劇を通して、みんなにしっかり考えさせてくれました。「あいさつ」についての場面では、「あいさつレンジャー」も登場しました。フロアーのみんなも一緒に「あいさつレンジャー！」と声をあげると、さっそうと登場します。最後に「あいさつをしたのに、知らんぷりで通り過ぎてしまうと、とても悲しい気持ちになるね。」「あいさつをするとお互いが嬉しくなったり、笑顔があふれたりするよ。」とレンジャーたちはみんなに伝えてくれました。

生活委員会からの発表後の感想では、「けがをしないようにしたいです。」「ろうかを走っている人がいたら、注意をしようと思いました。」「あいさつをちゃんとして、みんなを笑顔にしたいです。」等がありました。今回は、音響付きでした。シナリオから全て子どもたちで考えたものだったようで、学校をみんなで安心して過ごせる環境にしようと盛り上げる姿が素晴らしかったです。



学校評議員会がありました

11日(木)には、学校評議員の4名の方々に来校していただき、学校の様子や子どもたちの様子を見ていただきました。その後、学校から本年度の学校経営についての説明をさせていただきました。今回は特に「子どもたちと地域とのつながり」をテーマにお話をしていただき、子どもたちが主体性をもって取り組めるようなアイデアをたくさんいただきました。若葉校区を愛情いっぱいで見守ってくださっている学校評議員の方々です。「地域の中で育つ子どもたち」を温かく支えていただけることに改めて感謝したところです。

いじめ防止等対策委員会

引き続き、若葉小いじめ防止等対策委員会も行われました。学校関係者の他、SC、学校評議員、PTA 会長、社会福祉協議会会長、心のサポート相談員に参加いただきました。まずは、平成31年2月に策定されていた「若葉小いじめ防止基本方針」の見直しに向けて、色々な意見をいただくことができました。また、「きずなアンケート」の結果や「心のきずなを深める月間」についての情報共有等もすることができました。子どもたちが毎日笑顔で過ごせる学校にするため、子どもたちの小さな変化も見逃さない体制の構築や関係機関や専門家との連携の大切さ等が話題になりました。子どもたちの健やかな成長のために、色々な立場からの貴重なご意見を伺うことができました。



授業参観・学級(学年)懇談会はお世話になりました

お忙しい中、来校いただきありがとうございました。子どもたちの様子はいかがだったでしょうか。また、懇談会もお世話になりました。学校と家庭の様子をお互いに共有することは、子どもたちの成長のためには大切なことだと思っています。学期に1回しかありませんが、今後も大切にしていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお祈りします。